

プレスリリース



東京薬科大学



防衛医科大学校  
National Defense Medical College



東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

報道関係者各位

2012年4月2日

東京薬科大学

防衛医科大学校

東京大学医学部附属病院

生活習慣病のひとつ、高尿酸血症の定説を覆す発見  
—新たなしくみに基づく予防法や新薬の開発に期待—

■概要■

生活習慣病のひとつである高尿酸血症は、激しい関節痛を特徴とする痛風を引き起こすだけでなく、高血圧、脳卒中などの危険因子となることが知られています。従来、高尿酸血症は「腎臓からの尿酸の排泄能力の低下」と「尿酸産生量の過剰」が原因で発症すると考えられてきました。

この度、東京薬科大学の市田公美教授、防衛医科大学校の松尾洋孝講師及び東京大学医学部附属病院の高田龍平助教、鈴木洋史教授らの研究グループは、尿酸トランスポーター（輸送体）の分子機能に基づく大規模な遺伝子解析と遺伝子改変動物を用いた解析から、これまでの高尿酸血症の概念を大きく変える発見に至りました。すなわち、トランスポーター **ABCG2** の尿酸排泄機能の低下により、腎臓よりむしろ腸管からの尿酸排泄機能が低下することが、高尿酸血症の主要な原因のひとつであることを発見しました（「**Nature Communications**」誌日本時間4月4日掲載）。今回の研究により、腸管からの尿酸の排泄低下をきたす **ABCG2** 遺伝子の変異が高尿酸血症患者全体の約8割に認められることがわかりました。

本研究は、高尿酸血症を引き起こすメカニズムとして、今まで無視されていた腸管からの尿酸排泄の重要性を示すものであり、現代医学の定説を覆す発見です。この新たなメカニズムの発見により、新たな視点からの予防法や治療薬の開発につながるが大いに期待されます。

■別添資料■

6枚

■発表雑誌■

雑誌名：Nature Communications

論文名：Decreased extra-renal urate excretion is a common cause of hyperuricemia.

掲載日：日本時間4月4日0時／英国時間4月3日16時

（オンライン版として掲載予定）

プレスリリース



東京薬科大学



防衛医科大学校  
National Defense Medical College



東京大学  
THE UNIVERSITY OF TOKYO

■内容についてのお問い合わせ■

東京大学医学部附属病院

薬剤部 助教 高田龍平、教授 鈴木洋史

TEL：03-3815-5411（内線 37514）

E-mail：tappei-ky@umin.ac.jp（高田）

suzukihi-ky@umin.ac.jp（鈴木）

東京薬科大学

薬学部 病態生理学教室 教授 市田 公美

TEL：042-676-5680（直通） FAX：042-676-5680

042-676-5111(代)（内線 2604, 2624）

E-mail：ichida@toyaku.ac.jp

防衛医科大学校

分子生体制御学講座 講師 松尾洋孝、専門研修医 中山昌喜、教授 四ノ宮成祥

TEL：04-2995-1482（直通）

E-mail：hmatsuo@ndmc.ac.jp（松尾）

aknak@ndmc.ac.jp（中山）

shinomi@ndmc.ac.jp（四ノ宮）

■取材のお問い合わせ■

東京大学医学部附属病院

パブリック・リレーションセンター 小岩井、渡部

TEL：03-5800-9188（直通）

E-mail：pr@adm.h.u-tokyo.ac.jp

東京薬科大学

総務課法人・広報担当 大坪、松本、寺島

TEL：042-676-1649

FAX：042-677-1639

E-Mail：kouho@toyaku.ac.jp

東京薬科大学 〒192-0392 東京都八王子市堀之内 1432-1

防衛医科大学校

事務局総務部総務課 総務係主任 佐藤

TEL：04-2995-1511（内線 2111） FAX：04-2995-1283

E-mail：adm018@ndmc.ac.jp